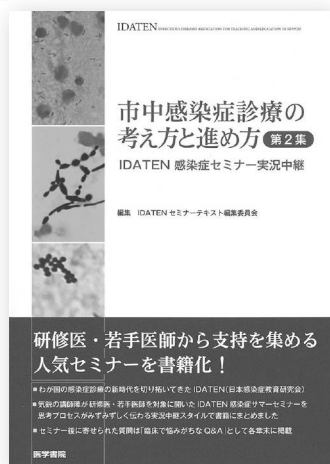


今月の特集関連本 ③



市中感染症診療の考え方と進め方 第2集

IDATEN 感染症セミナー実況中継

IDATEN セミナーテキスト編集委員会＝編

本体 5,500 円＋税／B5 判・364 頁／医学書院／2015

わが国の感染症診療の新時代を切り拓いてきた IDATEN（日本感染症教育研究会）。その気鋭の講師陣が研修医・若手医師を対象に開いた感染症サマーセミナーの内容を、診療の現場で役立つ実践的な情報を、思考プロセスがみずみずしく伝わるスタイルでまとめた。第1集(2009)では、「市中感染症診療のスタンダード」が、本書では演者に寄せられた質問が「臨床で悩みがちな Q&A」として、各章の項末に掲載され、日々の診療を助ける内容となっている。



感染症レジデントマニュアル

第2版

藤本卓司＝著

本体 4,500 円＋税／B6 変判・496 頁／医学書院／2013

藤本卓司先生による名著、待望の第2版。日々の臨床でそのつど役に立つのはもちろん、通読できる／通読すべきマニュアル本。

レジデントが直面する感染症に対し、まさに即、診療で役立つ知識をまとめたマニュアル。いつどうやって起炎菌を判断し、抗菌薬は何をどのくらい使うのか？ 使うにあたっての注意事項は？ 変更・終了の規準は？ 曖昧な判断で漫然と使われがちな抗菌薬を正しく使うための知識と、国際標準に即した考え方等々、著者のノウハウが満載。臨床現場で活躍する若手医師からベテラン医師まで、広くお勧めする“感染症の定本”。